

主要公園マネジメント方針（案） について

平成29年度 緑の審議会（第78回）

平成29年（2017年）11月 14日

はじめに ～都市公園の管理について～

■札幌市が所管する都市公園の数 2,734公園（H29.3時点）

所管部局	公園緑地名
建設局 みどりの推進部	中島公園、円山公園、大通公園、創成川公園、百合が原公園、モエレ沼公園、豊平公園、平岡公園、平岡樹芸センター、手稲稲積公園、豊平川緑地の一部
各区土木部	上記以外の公園



はじめに ～都市公園の管理について～

■維持管理（草刈・清掃・遊具の保守点検等）

① 指定管理者制度（主に大規模な公園等）

民間事業者、NPO法人等を指定管理者として指定し、植物管理、遊具、管理事務所等の施設の管理、運動施設の利用受付等の運営管理を、民間のノウハウを活かして行ってもらう制度

② 専門業者への委託（①以外の公園）

③ 地域団体への草刈・清掃の委託制度（主に身近な公園）

市民の方の公園への愛着を育み、市民の方と行政が一体となって公園を管理するための制度



1 方針策定の背景と目的

背景

- ・人口減少社会の到来、少子高齢化の進行
- ・厳しさを増す市の財政状況

課題

①公園に求められるニーズの変化への対応

- ・ニーズの変化に対応するための機能再編や付加価値の創出
- ・イベント利用などの賑わいの場と休憩・散策等の憩いの場の両立

②施設や植栽の管理水準の維持

- ・限られた財源の中で、点検や修繕等の管理の水準を維持

③老朽化施設の更新

- ・設置から30年以上経過した公園が6割以上で更新の必要性が高い

1 方針策定の背景と目的

近年の国の動向

- ▶ 都市公園法改正により、民間の活力導入がしやすくなった

①公募設置管理制度(Park-PFI)の創設

- ・公共還元型収益施設(飲食店等)の許可期間の延伸(10年⇒20年)
- ・公共還元型収益施設の建蔽率の緩和(2%⇒12%)

②PFI事業の設置管理許可期間の延伸

- ・PFI事業により公園施設を整備する際の設置管理許可期間を延伸(10年⇒30年)

- ▶ 都市緑地法改正により、緑の基本計画の記載事項が拡充された

①緑の基本計画に都市公園の管理事項を記載

- ・都市公園法改正や都市公園ごとの特性を踏まえた管理の方針等

1 方針策定の背景と目的

本方針策定の目的

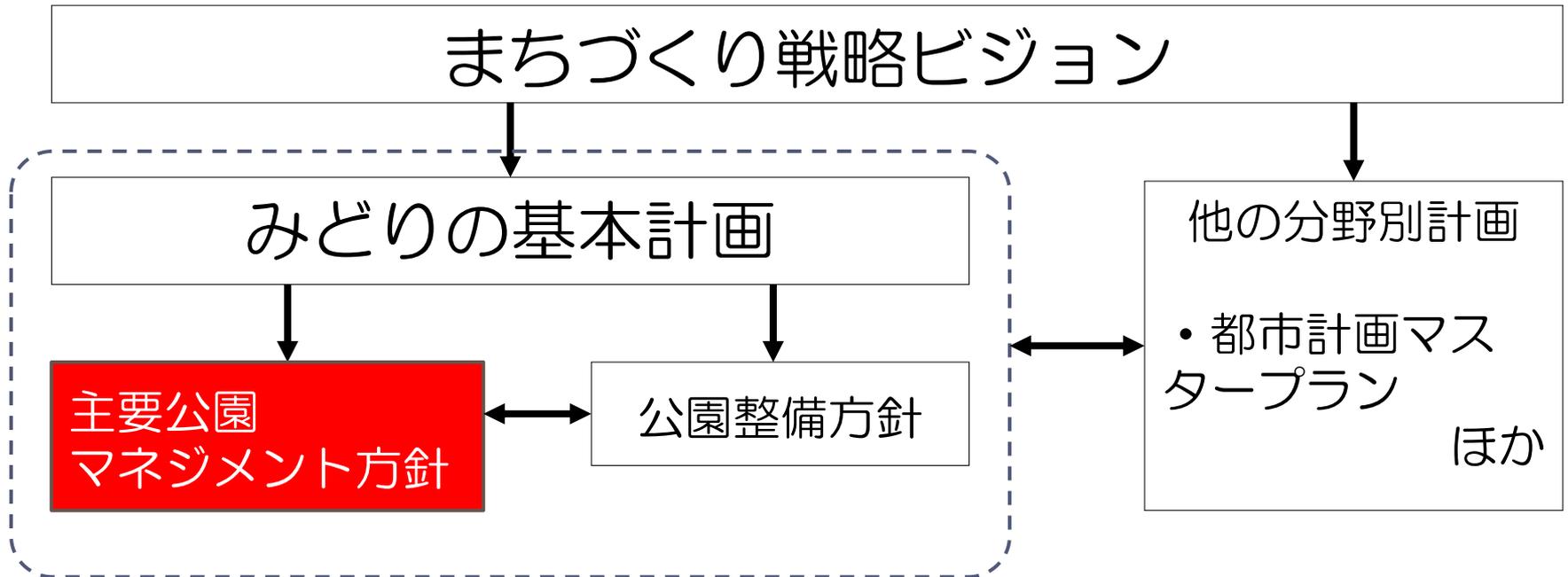
公園が抱える様々な課題の解決のために、従来の行政主体による整備や維持管理のみならず、民間の活力導入等も視野に入れながら、公園の特性に応じた管理運営※の方向性を示す必要がある。

そこで、本方針は、札幌市が目指す都市公園の管理運営の基本理念や将来像、そして、その将来像を実現するための施策を示すことを目的に策定する。

※本方針における「管理運営」とは、公園内の維持管理のみならず、まちのため、市民のために公園のポテンシャルを発揮するための運営も行うものとして定義する。また、方針名にある「マネジメント」は、「管理運営」と同義として扱うこととする。

2 本方針の位置づけと対象事項

(1) 位置付け



みどりの基本計画の下位計画として、公園整備方針と連携をとり、管理運営に関する方針を定める

2 本方針の位置づけと対象事項

(2) 対象事項

本方針では、主要公園として定めた下記の15公園※を対象に、公園の管理運営に関する事項を定めます。

公園種別	公園名
総合公園	中島公園、円山公園、百合が原公園、月寒公園、藻南公園、前田森林公園、平岡公園、モエレ沼公園、川下公園、五天山公園
運動公園	屯田西公園、手稲稲積公園、農試公園
特殊公園	大通公園、創成川公園

※本市で重要な位置づけになっている総合公園、運動公園と、都心部にあり、多くの市民により利用されている、大通公園・創成川公園を対象としている

3 本方針の2つの基本的理念

(1) 公園の特性に応じた管理運営を行う

本市では公園を4つのタイプに分類し、それぞれの特性に応じて管理運営を行います

【Type-1】
札幌の豊かな自然を象徴する公園

【Type-2】
札幌の魅力を体感できる
ショーケース※となる公園

【Type-3】
札幌市民の活動・レクリエーションを支える公園

【Type-4】
コミュニティのつながり、
生活を支える公園

※本方針における「ショーケース」とは、地域の個性を発信する場として定義する

3 本方針の2つの基本的理念

(2) 3つの視点で公園の特性を活かす

国が示す「新たな時代の都市をつくる緑とオープンスペースの基本的考え方」を基に、本市が定めた3つの視点を用いて、公園の特性を活かした取り組みを行います。

新たな時代の都市をつくる緑とオープンスペースの基本的考え方

ストック効果を
より高める

民との連携を加速する

都市公園を
一層柔軟に使いこなす

のばす

つなぐ

つかう

4 主要公園共通の将来像と特性ごとの将来像

(1) 主要公園共通の将来像

公園の憩いと賑わいの機能の両立を図り、
持続可能な管理運営を行う



憩い(休憩や散策等)



賑わい(イベント参加等)

4 主要公園共通の将来像と特性ごとの将来像

(2) 特性ごとの将来像

【Type-1】札幌の豊かな自然を象徴する公園

札幌市の都市環境の改善や、
札幌らしい景観を作り出す機能を特に有する公園

【のばす】

札幌の豊かな自然を体感でき、生物多様性を
高める自然環境の持続的な保全の推進

【つなぐ】

住民組織やボランティア等の民間主体が
みどりに関わり、守り・育てる運営・参加の実現

【つかう】

自然教育・体験等のみどりを活かした
事業を通じて、みどりの維持保全を促進



4 主要公園共通の将来像と特性ごとの将来像

(2) 特性ごとの将来像

【Type-2】 札幌の魅力を体感できるショーケースとなる公園

多くの人が集い、賑わいを創出する公園

【のばす】

固有の景観や歴史等を活かし、
ショーケースに相応しい機能を発揮する

【つなぐ】

高い集客ポテンシャルの活用と民間のノウハウ・
活力を発揮できるイベントの誘導や施設運営

【つかう】

民間のポテンシャルを活かした施設誘導や、
イベント展開等による収益性の発揮と
公園管理への還元



4 主要公園共通の将来像と特性ごとの将来像

(2) 特性ごとの将来像

【Type-3】札幌市民の活動・レクリエーションを支える公園

多様な活動の場として特に利用されている公園

【のばす】

保有する施設の改善や改修、
多面的な活用等を通じて、市民の健康な
暮らしや子供の育成等を推進

【つなぐ】

民間ノウハウの誘導等により、
既存施設の新たな活用や、
付加価値の高い施設への更新を促進

【つかう】

市民ニーズ、社会潮流等に応じた
利用機会の増進、多機能性の発揮



4 主要公園共通の将来像と特性ごとの将来像

(2) 特性ごとの将来像

【Type-4】コミュニティのつながり、生活を支える公園

地域住民の交流の場として利用される公園

【のばす】

市民のつながり・地域交流の場としての
機会・場の保全・強化

【つなぐ】

住民組織やボランティア等の民間主体による
運営や積極的な参加を通じた民中心の
公園管理・運営の実現

【つかう】

地域交流・参加機会の増進、次世代育成
等によるコミュニティのつながりの強化



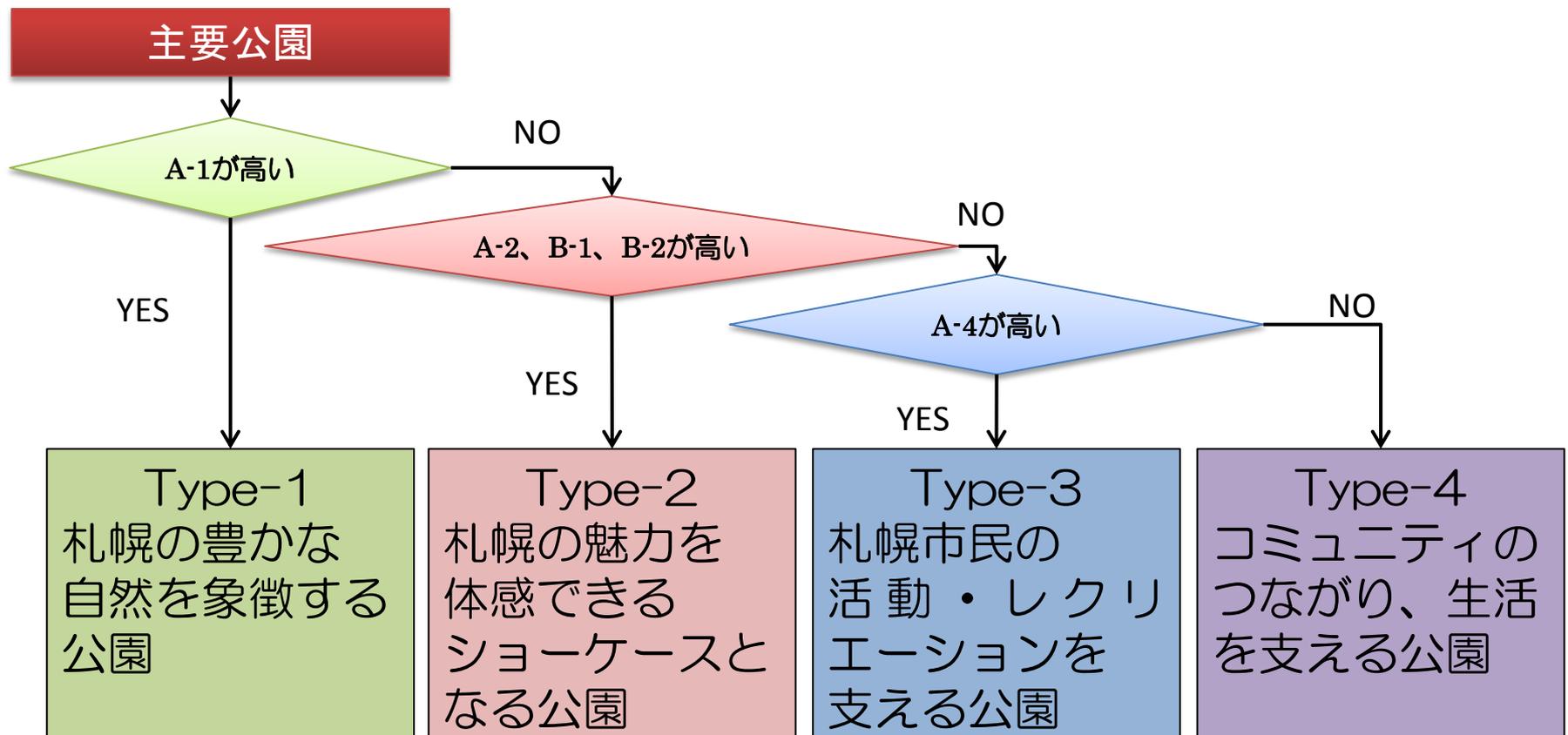
5 各公園の将来像の設定

- ▶ 公園の現況調査等を基に、下表のとおり、評価指標について数値化します。

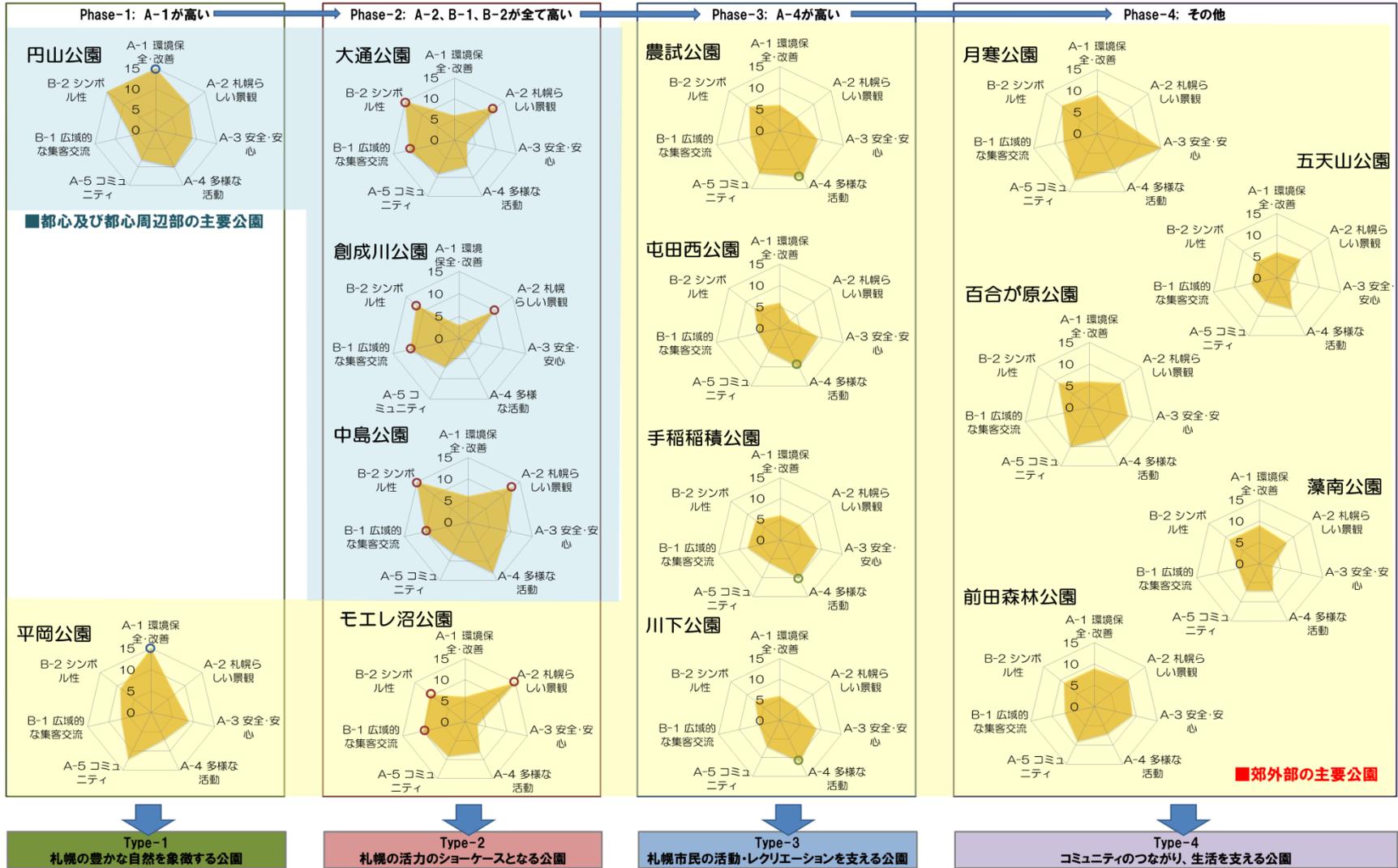
評価指標		評価内容		
基本的機能	A-1 都市環境の保全・改善	①樹林樹木面積		
	A-2 札幌らしい景観	①ランドマーク・特色ある植栽の有無	②特色ある地形の有無	③利用届件数(写真撮影)
	A-3 都市の安全・安心	①避難場所の位置付け	②防災設備の有無	
	A-4 多様な活動の場	①スポーツ・健康関連施設の有無	②子どもの遊び場の有無	③レクリエーション・文化関連施設の有無
	A-5 コミュニティ	①地域団体数	②自主事業イベント数	③利用届件数(遠足・校外学習)
集客機能	B-1 広域的な集客交流の場	①自主事業外イベント数	②立地条件	③駐車場台数
	B-2 札幌のシンボル性	①市民認知度	②広場・逍遙地としての利用年数	

5 各公園の将来像の設定

- ▶ 下図のフローに従って、主要公園ごとに将来像の設定を行います。



6 設定結果



6 設定結果

Type-1
札幌の豊かな
自然を象徴する
公園

円山公園
平岡公園

Type-2
札幌の魅力を
体感できる
ショーケースと
なる公園

大通公園
創成川公園
中島公園
モエレ沼公園

Type-3
札幌市民の
活動・レクリ
エーションを
支える公園

農試公園
屯田西公園
手稲稲積公園
川下公園

Type-4
コミュニティの
つながり、生活
を支える公園

月寒公園
五天山公園
百合が原公園
藻南公園
前田森林公園

7 将来像を実現するための施策

既存の施設及びイベントを活かしつつ、民間活力の導入等も視野に各種事業を行います。以下に事業例を例示します。

【Type-1】札幌の豊かな自然を象徴する公園 (円山公園、平岡公園)



【自然を体感できるプログラム】
環境学習等、公園の豊かなみどりを活かしたプログラムの充実
例：プレーパーク、エコツアー、素材加工のワークショップ等

ソフト事業



【みどりによる憩いの空間づくり】
みどり豊かな環境を活かした憩いの場づくり
例：カフェ・レストラン等の設置

ハード事業

7 将来像を実現するための施策

【Type-2】札幌の魅力を体感できるショーケースとなる公園
(大通公園、創成川公園、中島公園、モエシ沼公園)



【公園の特性を活かした民間との連携と、市民のサードプレイスとなる空間利用】

民間のノウハウを誘導した集客性の高いイベント等の展開。また、みどりを活かし、市民の豊かなライフスタイルを支えるプログラムを展開する場としても活用

例：ピクニック、健康イベント等

ソフト事業



【札幌の魅力を体感できる空間づくり】

札幌固有の環境・歴史・文化を体感するための場づくり、公園施設の強化

例：カフェ・レストラン等の設置

ハード事業

7 将来像を実現するための施策

【Type-3】札幌市民の活動・レクリエーションを支える公園
(農試公園、屯田西公園、手稲稲積公園、川下公園)



【四季を通じた利用促進】

民間のノウハウを誘導し、四季を通じて市民が利用するイベントの実施等による公園の活用を展開

例：雪合戦など、冬のウィンタースポーツイベント等

ソフト事業



【既存施設の強化】

既存施設の付加価値の高い活用を生み出す
機能向上・柔軟な活用

例：屋内遊具の充実、既存施設にカフェ・レストラン等を併設

ハード事業

7 将来像を実現するための施策

【Type-4】コミュニティのつながり、生活を支える公園
(月寒公園、百合が原公園、前田森林公園、五天山公園、藻南公園)



【特性に応じた市民交流の促進】

安全・安心、健康づくり等、公園の特性に応じたコミュニティ交流を促進

例：防災イベントや防災ワークショップ等

ソフト事業



【既存施設の強化】

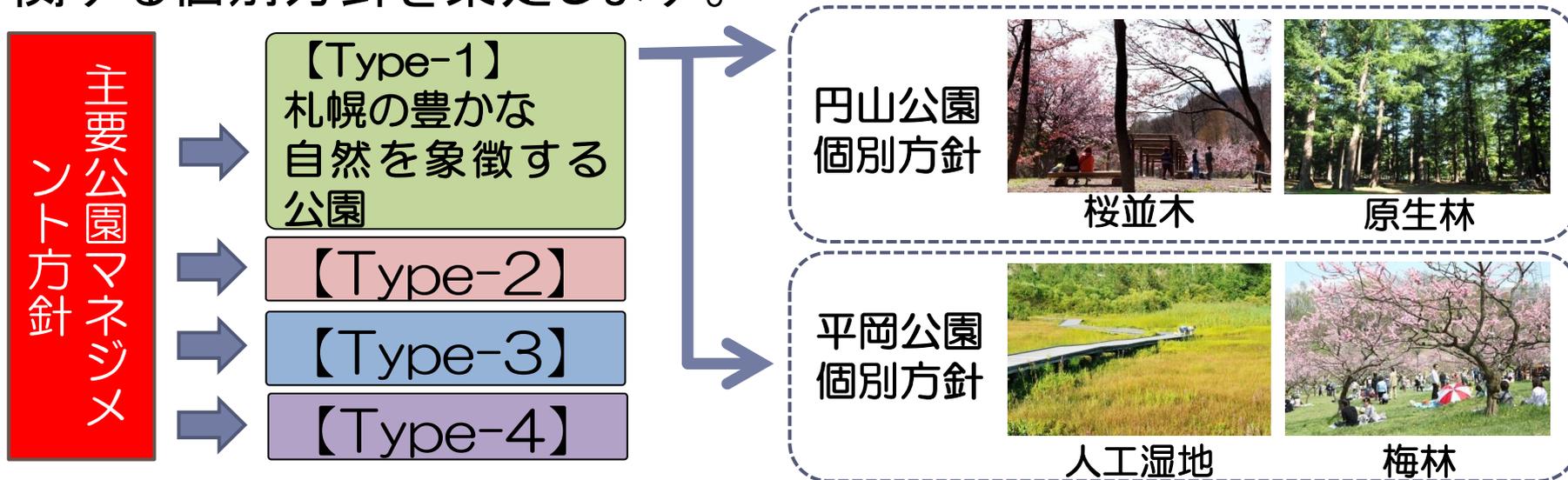
柔軟な活用、民間の参入の受け皿となる
既存施設の強化

例：温室やレストラン、庭園、スポーツ施設、遊歩道など、既存ストックの強化

ハード事業

8 主要公園ごとの個別方針策定の考え方

公園ごとに設定したタイプ特性を考慮しつつ、それぞれの公園の魅力向上や、各公園が抱える課題の解決に向けた管理運営に関する個別方針を策定します。



個別方針を策定するにあたって、以下の点を考慮し、優先順位を設定して順次作成していきます。

個別方針作成における視点

民間活力
導入可能性

老朽化度合

まちづくり計画

9 今後のスケジュール

